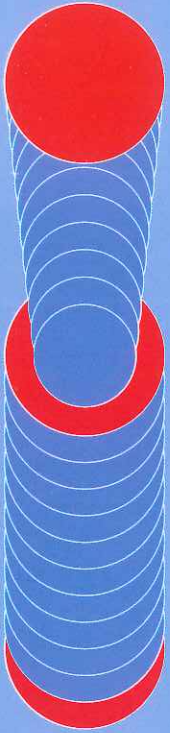


あしたの街は私がつくる

「大きな建物部門」



「小さな建物部門」



「歴史のある部門」



「テーマ部門」





1996長崎市都市景観賞

ごあいさつ



長崎市都市景観賞表彰実行委員会委員長
伊藤 一長

1996長崎市都市景観賞並びに都市景観賞奨励賞を受賞された皆様おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

今回、受賞された作品は、いずれもこれからの長崎の景観形成の先導的役割を担っていくものと確信しております。

さて、本賞はより魅力ある長崎らしいまちづくりを進めていくことを目的としてスタートいたしましたが、この目的を達成させるためには市民の皆様のまちづくりに対する思いが不可欠であります。

「まち」は様々なデザインで構成されており、その1つ1つが「まち」をつくる主役であると同時に周りを引き立てる脇役も果たしています。

そのため、たとえ1つの小さな努力でもそれが大きな輪となって広がっていけば、より魅力的な「まち」の表情を見せてくれるはずです。

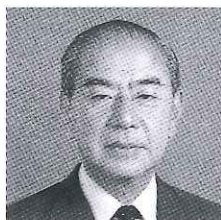
これは、まさにパンフレットにもあるように、「あしたのまちは私がつくる」が景観形成の基本的な精神であると言えると思います。

本賞が創設されて以来10年を経過しようとしています。

この間、各地域で市民によるまちづくり活動が盛んに行われていることからわかるように市民の皆様の景観に対する意識は着実に高まっています。

本賞の場合も、これまでの10年を市民の皆様への啓発の基礎固めの期間ととらえ、来年度からは更なる飛躍が期待できる表彰制度を目指していく所存です。

今回、応募していただいた皆様、また選考にご尽力くださいました選考委員の皆様並びに本賞に携わられた関係各位に深く感謝申し上げます、今後の都市景観賞が更に市民の賞として親しまれ、定着していくよう祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。



長崎商工会議所会頭
松田 高 一

1996長崎市都市景観賞並びに都市景観賞奨励賞を受賞されました関係者の皆様、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

さて、前回より採用いたしました部門別表彰制度も市民の皆様にご理解を賜り、今回も多くの方にご応募を頂きました。

特に「テーマ部門」に関しましては従来の建築物の範疇にとどまることなく、植え込み、通り、散策路、モニュメント、壁画など多種多様な観点から様々な対象物が推薦されるなど個性の時代を映じるばかりでなく、環境を意識した候補作品が高い評価を得るなど、市民、企業の環境に対する取り組みがこの都市景観賞においても評価対象となる傾向が見られ、都市景観賞の概念もますます拡がりを見せつつあると言えましょう。

幸いなことに当地長崎には、古くから海外に向けて開かれた「歴史」、その異国との交流を中心として培われた「文化」、豊かな海に囲まれた「地形」といった個性を表現するシーズを数多く持ち合わせており、そうしたシーズを活かした個性的な建築物等がこれまでに多くこの賞を受賞してきました。

長崎商工会議所におきましても、こうしたシーズを活かした観光資源・史跡等を顕在化すると共に、それらを線をつなぐことによる「歩いて楽しめるまちづくり」の検討に着手したところであり、そうした中、今回、あるいは今後都市景観賞並びに都市景観賞奨励賞を受賞された作品の数々はその線の範囲を拡げ、やがて面へと展開していくことをご期待申し上げるところでございます。

最後に、本賞が都市景観のみならず、長崎のまちづくり全般に対する市民の皆様の関心をより一層喚起するようお願いするとともに、本事業の実施にあたりご協力いただきました関係各位並びにご多忙の中ご尽力を頂きました選考委員の皆様へ深くお礼申し上げますご挨拶いたします。

自然環境を生かし、歴史的な文化遺産を継承しながら、人間のふれあいのある都市、洗練された街づくりに寄与する作品に対して贈られる賞です。



選考を終えて
長崎市都市景観賞
選考委員会座長
宮川 密義

1996長崎市都市景観賞は、部門別表彰の方式を取り入れて2年目に当たります。応募数では前回に及びませんでしたが、選考対象件数は前回を上回り、3回にわたる選考会もこれまでになく円滑に進めることができました。本賞の選考方法としては最も妥当な線に達したのではないかと考えます。

さて、今回の選考過程では「小さな建物」部門で、景観に対する所有者の深い認識と熱い心遣いを汲み取ることができたことは大きな収穫でありました。また「テーマ部門」では景観に対する植栽の役割がいかに重要であるかを示す2件が景観賞と奨励賞に選ばれました。なかでも奨励賞の「文教通り」は道路、建物、植栽のバランスが良好で、その背景には純心女子高等学校の生徒の皆さんをはじめ学園一体となった日頃の努力があることも特筆したいところです。

「歴史のある部門」の選考過程では、今回も往時の情緒を残す古い建物は積極的に顕彰してはどうかとの提案もありました。異国情緒を残す洋館は保存・活用が進められているようですが、長崎文化の象徴でもある町家など和風建築物は近代化の波にのみ込まれ多くが姿を消しつつあります。幸い市当局によって「長崎の町家（和風建築物）調査」が行われ、来年度から活用に向けて検討が始まると伺っております。全市的な保存意識高揚のために、この部門は推薦、表彰にある程度の考慮が払われているのではないかと思います。

また、これまでの選考過程を振り返って感じますことは、公共建築物からは『歴史の街』あるいは『国際文化都市』『平和都市』という長崎の街の個性が強いイメージとして伝わってこないということです。行政当局におかれては、長崎ならではの都市空間の創造、景観の形成について様々な施策を試みられていることには敬意を表しますが、公共施設の建設にはそれが十分に反映されているとはいえないものがあります。価値観の多様化の中で、万人の共感を得るのは厳しいテーマですが、公共建築物はその範を示す立場にあると思います。いっそうの配慮を期待致します。

「都市景観建築賞」でスタートした本賞も試行を重ねながら通算8回を数え、市民各層の理解も次第に深まっていることを肌にかけております。住み良い長崎の街づくりに本賞がいっそう重要な役割を果たしていくことを祈念致します。

選考委員会

座長
宮川密義
長崎新聞社編集アドバイザー（マスコミ）

委員
井川惺亮
長崎大学教育学部教授（美術：洋画）

岡林隆敏
長崎大学工学部助教授（土木工学）

岡本 修
商業デザイナー（美術：デザイン）

小川寿子
リブながさき編集長（マスコミ）

片寄俊秀
関西学院大学総合政策学部教授（建築家、技術士）

椎井弘二
長崎商工会議所青年部（主催者）

高橋清之
（社）長崎県建築士事務所協会（建築）

竹下晴彦
（社）長崎県建設業協会長崎支部理事（建設）

津田桂子
わらべ文庫主宰（文学）

津田礼子
活水女子短期大学講師（環境デザイン）

ディナ・ベルトーロ 野田
野田ゼミナール講師

林田米松
長崎県クリーン事業協同組合理事長（造園）

福丸秀一郎
商業デザイナー（美術：デザイン）

ブライアン・バークガフニ
長崎総合科学大学教授

北郷雅子
フラワーデザイナー（デザイン）

宮原和明
長崎総合科学大学教授（建築）

吉原明俊
ながさきプレス編集長（マスコミ）



第8回
長崎市都市景観賞
1996

『小さな建物部門』
三宅脳神経外科医院



【選定理由】

街並みや周囲とも良く調和し、空間構成、植栽とも見事で、心安らく建物である。設計者は病院建築に求められている癒しの空間をよく理解し、質の高いデザインに仕上げている。また道路に対しては、駐車場がオープンスペースとなるよう配慮され、ポケットパークの機能も付加されている。景観に対する所有者のこだわりが感じられる。(この建物が通りの街並み景観の質を高めるきっかけになることを、期待している。)

(宮原和明)

所在地/長崎市若草町3番21号
用途/診療所
階数/地上2階
構造/鉄骨造
延面積/627.95㎡
高さ/7.235m

■建築主■
三宅脳神経外科医院 院長 三宅仁志
長崎市若草町3番21号
■設計者■
有限会社 ジーアンドエム建築設計室 川口 洋
長崎市西山4丁目 382番地1
■施工者■
株式会社 藤木工務店福岡支店 支店長 長山和博
福岡市博多区博多駅南3-1-1



第8回
長崎市都市景観賞
1996

『歴史のある部門』

岩永梅寿軒



【選定理由】

明治35年に建てられ、まもなく100歳にもなろうという木造建築だが、手入れが行き届き、昔ながらの情緒を残す店舗として市民に親しまれている。看板などは宣伝のために時代に合わせ、手が増えられがちだが、渋くて落ち着いた色彩、伝統を感じさせる造りをそのままに、中通りの歴史的景観を守っていかうとする所有者の心遣いが感じられる。いつまでも残してほしい名建築の一つである。

(宮川密義)

所在地／長崎市諏訪町7番1号
用途／店舗併用住宅
階数／地上2階
構造／木造
延面積／198.36㎡
完成年／明治35年

■所有者■
岩永敏朗
長崎市諏訪町7番1号



第8回
長崎市都市景観賞
1996

『テーマ部門：建築エコアップ賞』

賑橋パーキングセンター



【選定理由】

街並み景観を乱すワンパターンの無味乾燥なタワーパーキングが増えている中で、イメージを一変させる建物である。設計者は駐車場建築の法規を窓やレンガの積み方の工夫でクリアし、落ち着いた建物に仕上げている。また、ツタ類で建物のエコアップを図っている。本物のレンガにツタの絡まる風景は、ようやく景観になじんできた。

(宮原和明)

所在地／長崎市栄町5番5号
用途／駐車場
階数／地上7階
構造／鉄骨造
延面積／5,535.37㎡
高さ／23.725m

■所有者■
西日本商事株式会社 代表取締役社長 梅原泰雄
佐世保市元町1番25号
■設計者■
AAエイツー・アーキテクト・プランナーズ 所長 高津昭生
東京都千代田区飯田橋1-8-10
有限会社 コア設計事務所 代表取締役 高比良秀博
長崎市筑後町7番10号
■施工者■
大井建興株式会社福岡支店 取締役支店長 本岡國重
福岡市博多区博多駅前3-5-7



第8回
長崎市都市景観賞 奨励賞
1996

『大きな建物部門』

鶴鳴女子高等学校記念体育館



[選定理由]

港を見下ろす丘陵地の中腹に造成されたグラウンドに隣接して、崖地の斜面に寄りかかるように建てられている。打放しのコンクリートの壁面にレンガタイルでアクセントをつけ、淡いグリーン屋根と相まってグラウンド周囲の自然と調和した景観は素晴らしい。港側から見上げたとき視覚的インパクトの強すぎる点が惜しまれるが、宿命的な斜面地を利点として活用し、地形に合わせた斜面開発の評価による受賞である。

(高橋清之)

所在地/長崎市中小島2丁目200番地
用途/高等学校(体育館)
階数/地上2階地下1階
構造/鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
延面積/2,475.66㎡
高さ/22.811m

■建築主■
学校法人 鶴鳴学園 理事長 原田延介
長崎市弥生町666番地
■設計者■
株式会社 北澤建築設計事務所 代表取締役 北澤興一
東京都渋谷区神山町7-8
■施工者■
前田建設工業株式会社九州支店 九州支店長 上田恵一郎
福岡市博多区博多駅東2-14-1



【テーマ部門：四季プロムナード賞】

文教通り



【選定理由】

文教通りは道路、建物、植栽のバランスがよく、春夏秋冬が見える街並みを形成している。特に純心学園側は教育の場としての地域性を見越した植栽が現況を象徴している。樹木は人間の友であり、何十年、何百年と共存していることを証明しており、植栽する場合、将来を展望した基本計画が大事である。そのような観点から文教通りは今後の街づくりの方向性を示唆している。

(林田米松)

所在地／長崎市文教町、大橋町
延長／1,360m

■代表者■
学校法人 純心女子学園 理事長 糸永ヨシ
長崎市文教町13番15号

長崎市都市景観賞受賞作品

(1987年～1995年)

第1回 (1987)	
長崎市都市景観建築賞	
◎活水女子大学・短期大学 音楽館・2号館	東山手町
◎カロムビル	浜町
◎フォーレ三原台	三原町
◎松翁軒	魚の町
◎中華門	新地町

第2回 (1989)	
長崎市都市景観建築賞	
◎活水学院楠光寮	小ヶ倉2丁目
◎小ヶ倉公営住宅	古道町
◎シーボルト記念館	鳴滝2丁目
◎蜷茶屋から新大工までの電車通り・電気軌道中央柱	一般国道34号見バイパス (馬町～蜷茶屋)
◎山里小学校	橋口町

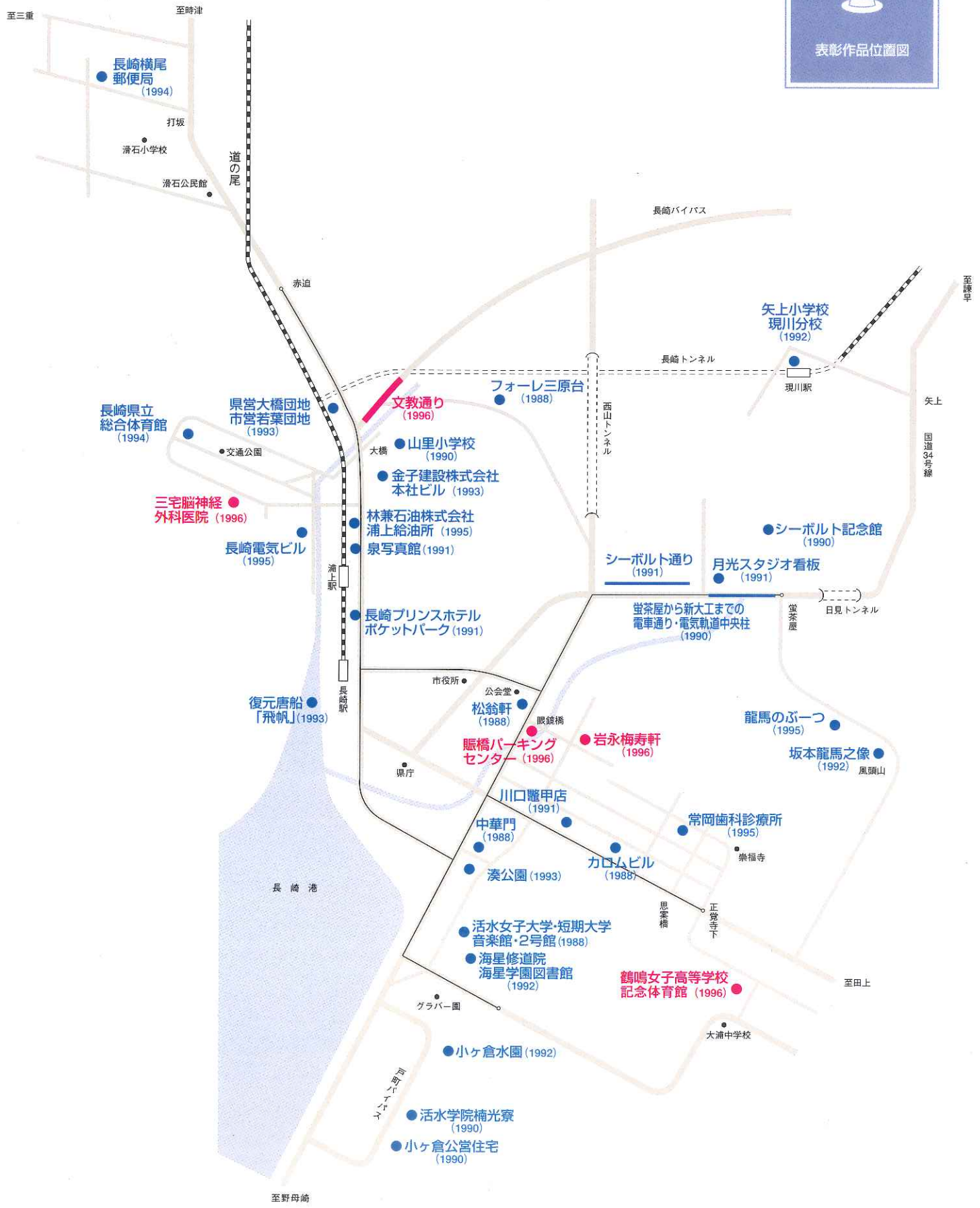
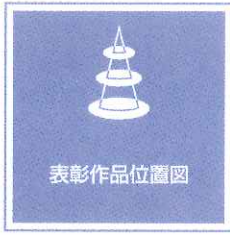
第3回 (1991)	
長崎市都市景観賞	
◎川口鱈甲店	浜町
◎シーボルト通り	新大工町
長崎市都市景観賞奨励賞	
◎泉写真館	川口町
◎長崎プリンスホテルポケットパーク	宝町
◎月光スタジオ看板 (南蛮ボード)	桜馬場1丁目

第4回 (1992)	
長崎市都市景観賞	
◎海星修道院 海星学園図書館	東山手町
◎矢上小学校現川分校	現川町
◎小ヶ倉水園	上戸町(小ヶ倉浄水場内)
長崎市都市景観賞奨励賞	
◎坂本龍馬之像(銅像)	伊良林3丁目(風頭公園内)

第5回 (1993)	
長崎市都市景観賞	
◎金子建設株式会社本社ビル	松山町
◎湊公園	新地町
◎県営大橋団地・市営若葉団地	大橋町、若葉町
長崎市都市景観賞奨励賞	
◎復元唐船「飛帆」	

第6回 (1994)	
長崎市都市景観賞奨励賞	
◎長崎県立総合体育館	油木町
◎長崎横尾郵便局	横尾1丁目

第7回 (1995)	
長崎市都市景観賞	
◎「大きな建物部門」	長崎電気ビル 城山町
◎「歴史のある部門」	常岡歯科診療所 油屋町
◎「テーマ部門：歴史ロマン賞」	龍馬のぶーつ 伊良林2丁目
長崎市都市景観賞奨励賞	
◎「小さな建物部門」	林兼石油株式会社浦上給油所 松山町



表彰実行委員会

委員長

伊藤一長
(長崎市長)

委員

松田 晴一
(長崎商工会議所会頭)

高比良 昇
(長崎商工会議所専務理事)

林田 武
(長崎商工会議所建設部会長)

川西弘二
(長崎商工会議所青年部会長)

松本 紘明
(長崎市都市開発部長)

秋窪幹男
(社団法人長崎県建設業協会長崎中央支部支部長)

扇 道徳
(社団法人長崎県測量設計業協会会長)

金子忠靖
(西部ガス株式会社長崎支店支店長)

清島利光
(長崎県建築士事務所協会長崎支部支部長)

佐藤光昭
(九州電力株式会社長崎支店支店長)

清水毅志
(日本電信電話株式会社長崎支店支店長)

平 三樹男
(長崎市管工業協同組合理事長)

土橋康二
(長崎市造園建設業協同組合理事長)

徳住一郎
(長崎県電気工事業工業組合長崎支部支部長)

永田朝治
(社団法人長崎県建築士会長崎支部支部長)

中村 諭
(社団法人長崎県建設業協会長崎支部支部長)

監事

佐々木泰昭
(長崎商工会議所理事・事務局長)

林田信義
(長崎市都市開発部建築指導課長)

主催

長崎市

長崎商工会議所

長崎商工会議所青年部

協賛

社団法人長崎県建設業協会長崎中央支部

社団法人長崎県測量設計業協会

西部ガス株式会社長崎支店

長崎県建築士事務所協会長崎支部

九州電力株式会社長崎支店

日本電信電話株式会社長崎支店

長崎市管工業協同組合

長崎市造園建設業協同組合

長崎県電気工事業工業組合長崎支部

社団法人長崎県建築士会長崎支部

社団法人長崎県建設業協会長崎支部 (順不同)

後援

NHK長崎放送局

株式会社エフエム長崎

株式会社テレビ長崎

株式会社長崎国際テレビ

株式会社長崎新聞社

長崎文化放送株式会社

長崎放送株式会社 (50音順)



長崎市都市景観賞表彰実行委員会